

## SEG 中3多読保護者アンケートの回答とそれに対するSEGのコメント 速報版

2024/5/18 ver. 1.00  
SEG英語多読コース  
文責 古川昭夫

中3多読クラス保護者アンケートにご協力いただきありがとうございました。保護者の方から、アンケートで多数のご回答・ご意見・ご質問をいただきました。以下、○は保護者のみなさんからのご意見・コメント、■はSEGからの返答とコメントです。紙面の都合により、重複する一部のコメントは割愛させていただき、また、すべてのご意見に対してコメントを掲載しておりません。また、いただいたコメントに一部加筆修正を加えさせていただいた箇所がございますのでご容赦ください。

- Q1 お子様はSEGの多読クラスの多読パートについて、どのようにお話をされていますか？** --- p. 1  
**Q2 お子様は多読クラスの外国人パートについて、どのようにお話をされていますか？** --- p.10  
**Q3 保護者の方が通常の英語塾ではなく、SEGの多読授業を選んだ理由は为什么呢？** --- p.18  
**Q4 大学受験に向けて、今後、SEGの英語多読クラスに対する要望や気になる点・ご質問等がございましたら、お知らせください** --- p.27

### Q1 お子様はSEGの多読クラスの多読パートについて、どのようにお話をされていますか？

#### ◇中3多読Eクラスのアンケートから

■中3になり、Eクラスでは、1冊5000語以上の本を安定的に読めるようになる方が増えてきました。中には1万語を越す本や児童書の原書を読めるようになってきている方も出てきています。中3、高1は、多読の花が咲いてくる時期ですので、だんだんと長い本にもチャレンジしていきましょう(無理をしすぎることはありません)。この春から始められた方も、1冊2000語程度の本が安定的に読めるようになりつつあります。新しく始められた方は、ここで焦らず、ゆっくりと、長さの長い本に慣れていっていただきたいと思います。

○「ドラッグディーラー」から宇宙のお話まで、多様な内容の本に、とても面白いと言っています。

○多読に通って3年目となり、英語の本を読むのが「普通のこと」になっているようです。好きなジャンルに偏りがあることだけ親としては少々気になりますが、本人は楽しく本を読めています。

■好きなジャンルを読んでいるだけで、しっかりと英語力が伸びていくのが多読の最大の長所です。

○どんどん難しい本が配られるようになり、家で読むだけでは間に合わず、SEGや学校の往復でも読んでいる。最初は少し大変だったが、今ではどんどん読みたい気持ちになってきたし、何より習慣になっている。

○楽しい。

○思春期で家では特に話しません。

○3学期に受講していたクラスより少しペースが緩くなってついていきやすくなったと言っていました。

■どのクラスでも、新学期からは仕切り直して、生徒さんの様子を見て、「緩いペース」から始めています。

○普段の生活では洋書を読む機会がないので貴重な時間だとのこと。

○最近は、本らしい本を読めるようになって楽しい。

○いろんな本が読めて、とてもためになっています。

○いろいろな本が読めて嬉しいそうです。面白かった本は、私に紹介してくれます。シェイクスピアで悲劇なの？ と聞かれましたが、私にもよく分かりません。

■Shakespeare には、喜劇(comedy)も悲劇(tragedy)も両方あります。

○あまり読んだことのないジャンルの本でも、宿題に出してもらったので読んでみると、夢中になってしまうことがよくあるそうです。選書が本当に素晴らしいです。とくに Roald Dahl の本は長めだけれど面白かったそうです。

■Dahl の本は長いものも面白く、特に、Charlie and the Chocolate Factory, Matilda, The Witches は傑作です。SEG では、ある程度読めるようになった生徒さんに、「初めて読む本格的な洋書」として勧めています。

○中3よりクラスが E になり、授業のレベルや本の文字数が増え、楽しいようです。

○本を読むことにより、表現が多彩になり、読解スピードも上がり、試験問題も安定して得点できるようになった。最初に行う基本英作文で、ちょっとした表現の違いが分かって、役立っている。

○本が面白くなってきたようです。

■中3になって読める本がレベルアップしてくると、内容もますます面白くなってきます。

○中2冬期講習から入会し、3学期はクラスに空きがなく C クラスでした。4月から E クラスに上がることができ、急に語数の多い、長い本を選んでいただけるようになったのが嬉しいと言って、張り切って読んでいます。

○授業内容はためになる。

○クラスメイトがいなくなってしまう、寂しいと言っていますが、今までと変わらず通っております。

■学年の変わり目では、曜日を変更される方も多く入れ替わりも多いですが、次第に新しい環境で、新しい友達が増えていきます。

○先生が楽しく、授業とは感じない。

○周りの生徒さんのレベルが高いので気後れするようです。

○本を読むのは面倒くさいようです(英語に限った話ではありませんが)。

○英作文のテスト対策で覚えるフレーズが外国人パートで使えたり、とてもためになっている。

○先生が、多読中に分からないことはないか気にかけて周ってくださるので、力がついていく気がする。

○絵本の内容が楽しいのと、自分の好みに合った本を選んでもらえるので楽しいと言っています。

○読める本の語数が増えていくのが楽しい。本の深掘りができるところが楽しい。

- クラスが変わり、ついていけるか心配していましたが、同じ学校のお友達や前回からご一緒していたお友達もいたようで、楽しかったと話しています。
- 学校の課題のサイドリーダーを読むのが楽になった。単語を類推する力がついた。
- 英文の理解の手助けになる、と言っております。
- 先生が本人の好みを反映して本を選んでくれるので幅が広がった。
- 本人は幼いところがありまして……、楽しい、と申しております。
- 普段読まないジャンルの本に挑戦できるので楽しい。
- 担当の先生がいつも面白い本を選んでくれる(1年の時から同じ先生にみていただいているので、子供の趣味を分かっているようです)。
- 新中3の4月(通常授業)からクラス内の生徒数が増え、男子2名に減っていますが、本人の学校(共学)でも女子が多いクラスのため、あまり気にしていないようです。高校進学を前に、優秀な生徒さんが最上位クラスにも入ってきているので、SEGの試験での順位を落とさぬよう、本人、気合いは入っています。あと英作文のみ、きちんと英文を書けるようになれば、大学受験の英語の勉強時間を他科目に回すことができます(母親の大学受験も、そうでした)。この中3の1年間は特に、英作文を丁寧に復習、習得させます。横川先生、本年度もよろしくお願い申し上げます。
- 最近、恋愛系やSF系やホラーなど、たくさんの本を読めて楽しいと言っています。長い本をどんどん読んでいきたいそうです。
- 面白い本を選んでもらえる。
- 通い始めたのが中2の冬休み明けからと遅かったため、他のお子さんが分厚い本を黙読する中、1人だけ薄い本を音読することを初めは少し恥ずかしく思うこともあったようですが、そのようなこともすぐに気にならなくなったようです。先生が娘のために選んでくださった本を読むことが楽しく、また本の文字数が増えていくことが嬉しいようです。
- 先生からいただくアドバイスが、英語を勉強するうえでとても有意義で参考になっているようです。
- とても楽しく英語を学んでいると言っております。
- 本を読んでいるだけなので少し退屈。  
■もう少し長い本が読めるようになると、本を読むだけで楽しくなってきます。
- 自分ではなかなか手に取ることのない分野の本に出会えると申しています。先生と相性が良いみたいです。
- 楽しんでおります。
- 難しい本が読めるようになり、とても達成感があるとのこと。

○都築先生が大変優しく興味のある本を選んでくださり、毎週の授業を楽しみにしております。

○本がたくさん読めて楽しい。語彙力が身につく。

○クラスは楽しいが、読む本のレベルがやさし過ぎると感じる。

■原則、入会間もない方には、やさしい本を読んでもらっています。「やさし過ぎる」と感じる場合には、遠慮なく担当講師にご相談ください。

○いろいろな文章に触れることができ、語彙力が増えたように感じる。

○何ら話しておりません。

○最近文法など難しくなってきたが、分かりやすく教えてもらっているため、実力がついた気がすると言っています。

○いろいろな子がいて楽しい。先生も楽しい。

○最初の頃、本人が持参したハリー・ポッターの水筒に先生が気づいてくれて、少しお話したと喜んでいました。子供なので、ちょっとした事でも先生に話しかけていただくと、やる気が出るようです。ありがとうございます。

○多読のおかげで、長い文章も抵抗感なく自然と読めるようになった。英語で文章を読むことが楽しみになった。

○いろいろな本が読めて楽しいと言っています。

### ◇中3多読Dクラスのアンケートから

■中3になり、Dクラスでは、多くの方が、1冊 2000 語程度の本を安定的に読めるようになりつつあります。また、1冊 5000 語を超す本を日常的に読まれる方も出てきています。全体的に、中2の時、バランス良い多読をした方は、読解力や読むスピードが上がり順調に推移しています。一方、「飛ばし読み」に偏りすぎて、「じっくり読む、高い理解度で読む」経験が足りない方もいます。中3のこの時期、「量を読む」と同時に「しっかりと読む」癖をつけることが大事ですので、やややさしめの本を多めに勧めています。一方、この春から始められた方は、1冊 500-1000 語程度の本が安定的に読めるようになりつつあります。新しく始められた方は、ここで焦らず、ゆっくりと、長さの長い本に慣れていっていただきたいと思います。

○面白く感じている。

○たくさん本を読むことができ楽しいそうです。

○特に何も話ませんが、前よりも音読を少しするようになった。

○SEGのおかげで文章読解は何となく理解できるようになったが、文章を作る(英作文)のが苦手だと話しています。

■大量の本を読んでいくと、頭の中に英語の文が堆積し、自然に文章を作れるようになります(が、時間がかかります)。

○特に何も話さないが、しっかり通っている。

- 学校よりやさしく面白い教材を多数読めるので楽しい。
- 自分のペースで自分のレベルに合った本を読むことができ、宿題も好きな冊数を借りられるのが良い。
- 中3になって男子が多いクラスなので楽しい。
- 分かりやすいです。
- 淡々と読んでいると聞いています。
- いろんな本が読めて楽しい。
- ほとんど話をしてくれません。
- あまり話してくれないため、様子が分かりません。
- 最近授業の様子は話してくれておりません。
- いつも自分に合った本の紹介があり、安心して任せられる。
- 読んでいる本のレベルは変わっていないように感じるが、自分の英語を読むレベルには合っているように思う。
- 楽しいと話しています。
- 「とても楽しい」「先生が自分に合った本を貸してくれる」と話しています。
- たくさん本を借りることができて嬉しい。
- 先生が自分の実力にあった本を選んでくれるため、楽しみながら読み進めることができる。また、英作文に対するアドバイスが的確で非常に分かりやすい、と話しています。
- まったく話さないのだから分からないのです。
- いろいろな単語が学べていいと申しております。
- SEG に比べたら学校は楽勝、と言っています。
- メンバーが新しくなったので気まずい。  
■学年の変わり目では、曜日を変更される方も多く入れ替わりも多いですが、次第に新しい環境で、新しい友達ができていきます。
- 「年 30 万語クリアを目指す！」と宣言して頑張っています。先生からの声掛けが励みになっているようです。
- あまり話しませんが、CD を聴いてコツコツ宿題をしています。

- 英作文の時に、冠詞の抜けなど注意すべきポイントを示してくれるので、ミスに気づきやすくなったと言っています。
- 楽しく通っているようです。
- 落ち着いて学習できて、また、語数も増えてきたと喜んでいました。
- たくさん、いろいろな本を読めて楽しいと言っています。
- 楽しいが、内容的に赤ちゃん向けで少しもの足りないとのこと。  
■赤ちゃん向けは、ちょっと大げさですが、幼稚園から小学1・2年生向けの本も読んでもらっています。やさしいものをたくさん読むことで英語力は着実に伸びていきます。たくさん読んで、力をつけたうえで、ぜひ、もう少し難しいものにチャレンジしてください。
- 語数が増えていくのが嬉しいと言って、頑張っています。
- 本を多く読むことができている。
- YL1.0 以上の本が読めるようになり楽しいと言っています。
- 特に話していませんが、長文が読めるようになった気がする、と言っていたことがあります。SEG のおかげかな、と言っていました。
- 尋ねてもあまり答えてはくれませんが、「こういう本を借りてきた」程度には教えてくれます。
- 分からない単語など、質問しやすい。面白い本を選んでもらえる。
- 気の合うお友達もいるようで、楽しく通っています。
- 英語の本をたくさん読めるので、とても貴重な機会だと思う。楽しい。
- ネイティブの学習法を体験でき、英語が身につくそう、とのこと。
- 学びになっている。
- 楽しい。自分で考えて説明するなど発言する機会が多く、主体的に授業に参加できる。いろいろな分野のたくさん本に触れることができ、視野が広がる。
- 楽しいと話しています。
- 春期講習からスタートしたので、学校終わりで塾に行った場合に眠くならないか心配と申し添えておりました。まだ、その後の感想を聞いてないのですが……。
- 先生がリラックスした雰囲気面白い。質問しやすい雰囲気で気に入っている。

- 楽しく学んでいるようです。自分のペースで進められる点が魅力のようです。
- 先生が分かりやすい(授業の様子をあまり話さないので、分かりません)。
- いろいろな本を読むことができている。
- ロミオとジュリエットを読んでいる。宿題の本の内容が面白くなってきた。
- 楽しいしかない。負担もなく、好きな本を選んでくれる。会話パートも楽しい。
- 徐々にレベルの高い本になることが嬉しいようです。また、語彙数のカウントも励みになっています。
- 今授業でロミオとジュリエットを読んでいるとのこと。クラスの先生から「春期講習ではハムレットを読んだ」と聞いてうらやましがっていた(事情により、春期講習は欠席だったため)。我が子がハムレットを英語で読みたがるとは思っていなかった。英語の力がついてきた結果だと思っている。
- 女子校のため、男子と女子で話し合いをするのはとても楽しいようです。
- さまざまな本を読むのは楽しいようです。
- 自分のペースで進められて楽しい。
- 分かりやすい授業だと話しています。※無理やり行かせているので今はまだ前向きでなく申し訳ないです……。
- 今のところついていけると感じているようで、自信になっているようです。
- 自分からは何も話しません。英語に通うこと自体が面倒、というスタンスですが、サボるでもなく通ってくれてはいます。
- まだまだハリー・ポッターまで行けませんが、ステップアップしてお借りできる本を楽しみと通っております。
- 先生が楽しくて大好きだそうです。
- だんだん面白い(読み応えのある)内容が読めるようになってきて楽しい。
- 楽しみにして出席しています。

### ◇中3多読Cクラスのアンケートから

■中3になり、Cクラスでは、多くの方が、1冊 500 語程度の本を安定的に読めるようになりつつあります。また、1冊 1000-2000 語の本を読み始める方も出てきています。一方、中3のこの時期、「しっかりと読む」癖をつけることが大事ですので、やさしめの本を多めに勧めています。1冊 500-1000 語程度の本を「しっかりと読める」ようになれば、高校から大きく読書力・英語力を伸ばすことができます。無理して長い本に手を出すのではなく、しっかりと読める本をしっかりと読む癖をつけていただければと思います。一方、この春から始められた方は、1冊 200-500 語程度の本が安定的に読めるようになりつつあります。新しく始められた方は、ここで焦らず、ゆっくりと長さの長い本に慣れていっていただきたいと思います。

○前よりは分かるようになってきた。

○5月から入会のため、まだ分かりません。

○いただく本がやや簡単なものが多く、もう少し文章量の多いものに挑戦したい。いろいろなジャンルの本をいただけるので面白いと申しております。

○分かりやすいそうです。

○始めたばかりで、他のクラスメイトとはレベルが違うけれど、自分に合ったやさしい本を選んでくれて、自分のペースで読めるので嬉しい、と話しています。

○面白いが、上のクラスに上がらない。

■中3くらいから徐々に力がついてきています。理解度8割程度で読み続けていれば、必ず上のクラスに上がっていきます。

○数学の授業と違い、勉強という感じがなく、リラックスして受講できる。

○文法などの説明、解説がない点が分かりづらいと感じているようです。まだ入塾したばかりで2回しか受けていないのでよく分かりませんが……。

■文法解説が中心の授業方式ではなく、実際に大量に(辞書を引かなくても理解可能なやさしい)英語に触れることにより、文法や語彙を体得していく方式の授業となっています。とは言え、読んでいる文章がよく分からないという場合には必要に応じて文法的な説明もしますので、分からないところは、授業中でも授業後でも質問してください。

○難しいと話している。

■徐々に慣れてきますので、ご安心ください。

○口数が少ない年頃なので詳しい話をしてくれないのですが、「普通……」と答えるので、おそらく息子の「普通」＝「問題なくできている」という意味だと思います。

○難易度がちょうどいい形でやってくれると言っています。

○ほとんど感想を話さないなので、よく分かりません(どう? と聞くと、「楽しいよー」くらいです)。ですが、多読用の本を持ち帰って、「こんなのをやってるんだー」と、大変ともエキサイティングとも言っていないので、本当はどう思っているのか、どのようにこなしているのか不明です。知りたいです。

■保護者会の個人面談でお話しさせていただきます。保護者会不参加の場合には電話面談も可能です。

○自分のレベルに合った本を選んでもらえるので、無理なく読むことができ、とても楽しく英語を学べる。また、授業内で本の内容について話をしてくれるので、疑問に思ったことなどもすぐに理解することができる。

○ORT が面白く、授業は楽しく受けているようです。宿題では、一日一冊読むようにしています。

○さまざまな本が読めて面白い。

○楽しいようです。

○まだ始めたばかりで、あまり多くを話してはくれません。本人自身が春期講習を実際に受講して、入塾を決めました。

■ご本人の気持ちを尊重していただいてありがとうございます。

○自分自身のレベルに合わせて本を選ぶことができ、柔軟なのでモチベーションが安定し、宿題に取り組むことができる。

○自分の好みに合ったジャンルの本を考えて選んでくださるので、楽しく取り組むことができているようです。

○楽しい。

○本が読めて楽しいです。

○始めたばかりですが、これからたくさんの本を読むことを楽しみにしています。

○特に良いとも悪いとも話していない。

○シャドウイングも長文読解も両方楽しんでいる様子。テストについてはミスが多くて 50%程の出来。

○楽しいと言っています。

○周囲が優秀な人ばかりで焦るが、それが良い刺激にもなっている。

## Q2 お子様は多読クラスの外国人パートについて、どのようにお話をされていますか？

### ◇中3多読Eクラスのアンケートから

■中3Eクラスの外国人 Part では、英語での Game も取り入れて、できるだけリラックスした雰囲気、「聴く・話す・書く」を中心に授業を行っています。また、「多書」ということで、5分間と時間を区切って、辞書なしに、できる限り長い英文を書くという演習もしています。普段の授業では、会話がメインですが、中3では、Creative Writing ということで、短いフィクションを数回の授業を使って書いてもらうことも行います。また、短い Video を観てディスカッションもしています。2学期以降、ノンフィクションの話題をテーマにしたディスカッションの時間も設ける予定です。

○楽しいと話しています。先生がとても明るくて、日本通のお話も興味深いと言っています。

○外国人パートについて娘から話を聞くことがほとんどありません。どういう雰囲気でのようなことを行っているのか、授業の様子をお教えいただけると嬉しいです。

■クラス会の際に日本人講師から説明させていただきます。

○消極的な性格なのでなかなか話せないが、長く通っているので顔なじみもできてきた。

○思春期で家では特に話しません。

○春期講習と同じ先生でちょっと嬉しいそうです。

○学校では外国人の先生の授業が少ないので、会話する時間を楽しんでいるようです。

○アニメなどを観ながら英語を学ぶことができ楽しい。

○とても面白い。

○スポンジ・ボブの本を読んだらしいのですが、覚えていて(暗唱)家で再現してくれて面白かったです。どの先生も面白くて楽しいそうです。

○今年の David 先生も面白くて、参加するのが毎年楽しみだそうです。外国人パートは他塾にはない魅力の一つですね。

○中3より Writing の授業がスタートし、今後授業についていけるか不安はありますが、今までの復習の機会になるととらえているようです。

○楽しいと言っています。

○外国人の先生と話す時に、その場で文章を組み立てて言えるようになる訓練になる。ネイティブの先生の発音と自分の発音の違いが分かり、良いリスニングの練習になる。

○お話を作っていると聞いています。

- 賑やか、先生の喋るスピードが速い(のが良い)、先生が速めにたくさん話すのをクラスメイト達が理解しているようだ、などと話しており、全体として満足しているようです。
- どの先生も明るく授業を盛り上げてくれる。
- クラスメイトがいなくて寂しいと言っていますが、変わらず楽しく通っています。いつも楽しい授業をありがとうございます。
- また新しいお友達が作れるといいですね。会話の授業では多くの生徒さん同士で話し合うので、だんだんとみんな仲良くなっていきます。
- 先生が楽しく飽きることなく、あっという間に時間が過ぎてしまう。
- 英語で文法を説明してくれるので分かりやすいそうです。
- 外国人の先生とお話するのは面白いようです。
- 知らない単語を英語で説明してくれるのが良い。
- クラスが上がって、先生の話す速度が速いが、楽しい。
- 親しみを持って楽しんでいます。会話の時、男子生徒さんの場合(相手が)あまり話してくれなくて困るときがあるようです。
- 担当の外国人の先生にも意見を伝えさせていただきます。
- みんなが和気あいあいと学べる雰囲気が良い。
- 楽しいと言っています。特に先生のフリートークや、発言の機会がたくさんあることが面白いそうです。
- 萎縮せずに楽しく話せる雰囲気だと聞いております。
- 先生ごとに雰囲気が違うのが楽しい。ネイティブの先生に接することで、頭の中で英語が出てきやすくなった気がする。
- まったく話をしません。
- 本人は幼いところがありまして……、楽しい、と申しております。
- 習った文法を会話の中に実際に取り入れてくださるので実践的。
- 面白いことや印象に残ることがあると、「今日こんなことやって、こうだった～」のような話をしてくれる。
- 映像を観て、みんなでトークをしたり、英語でグループ・ゲームをしたり、気軽に英語を話して、楽しんでいるようです。

- 外国人の先生と話すことで、リスニング力やスピーキング力がついていていると思います。将来外国に行くことになった時、この経験を活かしていきたいです。
- 話し合いが面白い。
- 学校の外国人の先生の授業は少し簡単すぎるけれど、SEG の先生の授業は難易度がちょうど良く、とても楽しいと言っています。学校の授業についてはあまり家庭で話しませんが、SEG の授業についてはよく話してくれます。
- 授業は楽しく、積極的に参加している様子が見えます。
- ネイティブ English を体感できて、ヨーロッパ、アメリカ、アジア人の英語の聞き取りが良くてきています。
- ひたすら楽しいようです。一体何をしているのか、かえって気になります。
- 楽しんでおります。
- ネイティブが使う自然な英語を教えてくれるからとても勉強になる、とのこと。
- Jeremy 先生が面白く大変お優しく、先生とお話できることをいつも楽しみにしております。
- 話す勇気がわく。楽しい。先生の言葉が分かる。
- 良いと思う。
- 自分で文章を作ることによって、一つの単語についてよく理解できるようになった。さまざまな言い回しが瞬時に思いつくようになった。
- 何ら話しておりません。
- とても楽しい。時間があっという間だそうです。
- 日本語も少し話せるよ、楽しいよ、とのこと。
- クラス替えて、本人曰く、お腹を抱えて笑ってしまうくらい面白かった先生から別の先生になり、最初は残念そうでした。夏期講習などで、また昔の先生のレッスンを受けられるかもと期待しています。今は、慣れ親しんだアメリカ英語で聞き取りやすいようですが、レベルは上がったので、大変なようです。
- 夏期講習は先生を選べますので、ぜひまた、昔の先生のレッスンを受講してください。ただ、その昔の先生は、海外に住んでいる方の Wedding を日本でやる仕事もしており、コロナが明けてからそちらの方が忙しくなり、現在、担当授業のコマ数が減っています。
- 少しずつ発音が聞き取れるようになり、英検の面接の時も、普段の多読のレッスンがとても役に立ったとのこと。
- 積極的に発言ができて楽しいと言っています。

### ◇中3多読Dクラスのアンケートから

■中3Dクラスの外国人 Part では、英語での Game も取り入れて、できるだけリラックスした雰囲気、「聴く・話す・書く」を中心に授業を行っています。また、「多書」ということで、1分、3分、5分間と時間を区切って、辞書なしにできる限り長い英文を書くという演習を取り入れました。普通の授業では、会話がメインですが、中3では、Creative Writing ということで、短いフィクションを数回の授業を使ってグループで書いてもらうことも行います。また、短い Video を観て解説・討論したり、TPRS(Teaching Proficiency through Reading and Storytelling)の手法で、生徒と先生、クラス全体で物語を作ることも続けています。

- 面白く感じている。
- 楽しい。
- 会話が少し緊張するみたいです。まだ通い始めたばかりなので。
- 特に何も話しません。
- 楽しい会話が合った時(授業)は、エピソードを話してくれます。ベネチアのことをやった回があったみたいで、旅行してみたいと話していました。
- 特に何も話さないがしっかり通っている。聞き取りと読解、会話が上達し、自信をつけてきている。文法と単語力が課題。
- 真顔でジョークをおっしゃるので、笑いをこらえるのが大変。でも、楽しい。
- 授業が面白く、知り合いがいなくてもクラスメイトとたくさん話すことができ嬉しい。
- 結構面白いです。
- クラスが変わりあまり話をしていません。
- 自分たちで話(物語)を作ったりするのが楽しい。
- 最近授業の様子は話してくれておりません。
- とても楽しく授業に参加できている。
- 楽しい。自分の考えを英語で伝えるのは難しい。
- 楽しいと話しています。
- 「パートナーなどと話しながら進むので、より理解できる」「このようなスタイルは自分に合っていると思う」と話しています。
- コミュニケーションがとりやすい。

- 少人数のため学校の授業よりたくさん話せること、ゲームの時間にクラスのメンバーと楽しく会話できることが嬉しい、と話しています。
- 一番楽しみにしている授業です。
- コミュニケーションがとれて楽しいと申しております。
- 遊びだから楽しいと言っています。
- ちょっと難しくなった。
- 毎回「楽しかった！！」と帰ってきます。
- 少し緊張しているようです。
- 講師の先生方が明るく魅力的で、ビデオを観たりゲームをするのが楽しいと言っています。
- 楽しく通っているようです。
- 話しやすく良いと言っています。
- 先生が面白くて楽しいと言っており、通塾を楽しみにしています。
- とても楽しい授業をしてくれるとのこと。
- 楽しく授業を受けられています。
- 外国人の先生とお話することができて楽しい。
- 先生の発音に少し癖があるがクラスメイトも増えて楽しいと言っています。
- 特に話をしてくれませんが。
- 多読パートと同じように、あまり答えてはくれませんが、観たビデオの内容は楽しそうに話していました。
- 先生のテンションが高く、話が面白いので、授業がとても楽しい。
- 気の合うお友達もいるようで、楽しく通っています。
- 楽しんでる。
- 先生のギャグの話。
- ネイティブの発音を生で聞くことができ、ヒアリング力、発音が上達しそう、とのこと。

- 学びになっている。
- 楽しい。自分で考えて説明するなど発言する機会が多く、主体的に授業に参加できる。いろいろな分野のたくさん  
の本に触れることができ、視野が広がる。
- 優しく接してくれているとのこと。
- 説明が分かりやすく、普通にいい。
- いろいろな人と英語でコミュニケーションを取ることができるのが楽しいようです。
- 先生の発音が聞き取りやすい。
- 会話が楽しい。
- 外国人の先生の話が聞き取れない。
- 以前よりも先生の話していることが理解できるようになった。
- 楽しい(具体的に分からず、すみません)。
- 会話が続くことがとにかく嬉しく、英語が身近に感じられるようになったとのこと。
- この前、自分たちで作った物語をぜひ読んでほしいと親に見せてきた。楽しめて、力もついているのだと思う。
- 英語が聞き取りやすいと申しています。
- 伝えたいことをうまく汲み取って導いてくださり、喜んでいきます。
- 英語で会話する機会が多くて勉強になる。
- 分かりやすい授業だと話しています。※無理やり行かせているので今はまだ前向きでなく申し訳ないです……。
- とても楽しいと言っています。
- 自分からは何も話しません。英語に通うこと自体が面倒、というスタンスですが、サボるでもなく通ってくれてはいます。
- とても大好きで、犬の好きな先生で面白いと聞いています。
- 先生のノリが良くて、これまた楽しいそうです。
- 映画が面白いものが多くて嬉しい。クラスの人々と交流ができるのが楽しい。
- 勉強になるとのことです。

### ◇中3多読Cクラスのアンケートから

■中3C クラスでは、「読む・聴く・話す・書く」を中心に授業を行っています。また、「多書」ということで、1分、3分、5分間と時間を区切って、辞書なしにできる限り長い英文を書くという演習を取り入れています。また、語彙が少ない生徒さん、会話に慣れていない生徒さんも多いので、先生は平易な英語で、ややゆっくりと話す、あるいは、同じ内容をいろいろな言い方をして理解してもらうよう工夫しています。また、普段の授業では、英語での Game も取り入れて、できるだけリラックスした雰囲気の中で授業をするとともに、文法事項について、適宜復習するようにしています。また、TPRS( Teaching Proficiency through Reading and Storytelling)の手法で、生徒と先生で、奇妙で楽しい Story を作るという授業も続けています。

○相変わらず楽しい。

○楽しい！ と申しております(詳しくはあまり答えてもらえませんでした)。

○分かりやすいそうです。

○外国人の先生は、授業が分かりやすく、みんなに面白い話を用意してくれて、次の授業も楽しみになると話しています。

○面白くて楽しい。

○多読パート、Native Part あわせてになります。数学の授業と違い、勉強という感じがなく、リラックスして受講できる。

○楽しく学んでいるようです。

○難しいと話している。

○一方、そんな感想しか発しない息子が「楽しい」と言うので、かなり楽しいのだと思います。先生とのやり取りが面白いそうです。

○ちゃんと文法などをしっかり説明してくれるので、結構良いようです。

○学校の英語全般から、学びたい・知りたい意欲は強く、よく意味を聞いてきたり、使い方はこれでいいか、など確認してきいたり、今英語のシャワーに放り込んだらスポンジのように吸収して伸びるだろうな、と想像し、ときどき英語で話しかけて英語を特別なものではなく、日常の手段にしようとしております。

○ただ問題を解くだけではなく、みんなで英語でコミュニケーションを取りながら学べるので、とても楽しい。

○テンションが高い先生だと盛り上がるようです。グループでストーリーを作っていくときに男子が面白く、女子が笑うという構図がよく見られるようです。

○先生の話が興味深い。

○「けっこう分かりやすく、単語も覚えやすい」とのことです。

- 以前よりグループで協調しながら会話を進めることもあり、楽しんでる。
- ペアワークが楽しい。先生が生徒みなに公平に話を振って会話できるのが嬉しい。多少文法が間違っているけど、気にすることのない寛容な雰囲気が良い。
- 明るい雰囲気。
- 先生の話が面白くて、楽しいそうです。
- まだよく分からないそうです。緊張しているようです。
- クラーク先生は面白いようです。
- ミニゲームをやったり、先生が個々人に話しかけてくださるのが嬉しい。あっという間に時間が過ぎる。
- 面白いと言っています。
- とても楽しい。

### Q3 保護者の方が通常の英語塾ではなく、多読の授業をお選びになった理由は为什么呢？

■「受験だけでない英語を学ばせたい」、「大量の本を読める速読力を身につけたい」、「勉強として学ぶのではなく、楽しく学ばせたい」という理由で選ばれた方が多く、私達の考えを理解して下さる方の輪が広がっていると感じます。学校の先生、友達の親、姉の勧め、卒業生の勧めで受講された方も多く、支援に感謝したいと思います。まだまだ「多読」は英語教育の世界で異端ですが、「読書の楽しさ」と「読書を通じて英語力が伸びるすごさ」をこれからも伝えていきたいと思っています。

#### ◇中3多読Eクラスのアンケートから

- 本を読むことで、勉強するというよりは、身につけるという目標に向かって少しずつでも進めていく方法ではないかと思いましたが、選びました。
- 文法の例文を覚えたり、問題を解く塾ならば学校の授業で十分だと思っから。使える英語である、話す、読むを重視したかったから。学校のテストで初見の文章を読むのが苦でなくなった。
- 自然に英語に触れられる環境を希望していたため。
- 英語への興味を持ち続けるためと読解力を養うために多読を選びました。
- 自分で勉強するうえでも、多読は効果があると感じていたから。
- 自分も多読を経験して、効果を実感していたからです。
- ご子息も多読を楽しんでいるようで何よりです。
- 無理なく楽しく使える英語を身につけさせたかったからです。
- 受験終わりであまり勉強三昧にさせたくなかった。楽しんで語学を身につけるには、多読は良い方法ではないか？と思ったため。
- 単語量を増やしたいので多読の授業を選びました。
- 娘が3歳くらいの時、古川先生の著書を読み、ずっと通わせたいと思っていたから。実際に受講してみて、少ない宿題&授業楽しいのに、英語の力がぐんぐん伸びているのを感じます。小5で英検準2級に受かって以降取れていなかった2級も、多読の授業に通っただけで合格しました。ありがとうございます。
- 英検2級合格おめでとうございます。
- 小学生の時から自宅で多読をしていたのですが、家庭ではいろいろな意味で限界を感じていたのです。
- 本を読んで、楽しみながら学べるのと、自分のレベルに合った進捗をさせられると考えたため。
- 保護者自身の経験として、大学受験時に英語の試験問題を解ききる時間が足りなかったこと、その解決策として、楽しんで多くの文章を読める能力が必要であると考えたから。

- 英語で本が読めたら世界が広がると考えたから。
- 学校の英語の授業が物足りないようなので、英語に接する「幅」「奥行き」を広げられたらと思い、受講させています。通常の英語塾は特に検討しておりません。
- 学校の授業でまずしっかりと取り組んでほしい、SEG を選んだのは英語に自然と触れる機会を得てほしかったから。
- 英語の本をたくさん習慣的に読むということを、家庭で、子ども一人で続けることは難しいと思うので、通わせています。
- 中高一貫校で高校受験がないので、受験英語ではない、教養としての英語を身につけてほしかった。また、原語で読書できれば、知識や感性がより豊かになると考えたため。
- 小学生の時に通っていた塾と同じような授業の進め方だったため。
- 生きた英語に触れられること。受験だけでなく、生涯使える真の英語力を養うこと。
- 使える英語が習得できると思ったため。
- 英語を嫌いにならずに、多読を進めることで自然に力をつけてもらいたかったから。
- 英語で原書を読めるようになることが、本質的な英語学習だと考えているため。
- 長文への抵抗感を下げたいので。
- 教わる、記憶するのではなく、読みながら自ら学べるから。
- 単語や文法の勉強は他でもできますが、読んだり聞いたり話したりの機会はなかなか与えられないので、その経験値を上げるために転塾しました。
- 子どもが母語を話すようになるように、自然に英語を身につけることができると思ったから。毎日コツコツ型ではないので、本を読むことで英語が身につくのは理想だと考えた。
- いわゆる例文よりはストーリーがあって面白みがあるのではないかと感じました。
- 自分のペースで楽しみながら英文に親しむことができそう、と感じたから。
- もともと読書が好きなので入りやすいと思ったから。
- 多読が大学受験に大事だと思ったから。
- 目先の定期テスト、英検といったものを目指すのではなく、将来的に英語を自分のスキルとして身につけることができることを狙っていると考えているためです。

○先に数学を受講していたため。友達から多読クラスが面白いと聞いてきて、本人が行きたいと言ったため。

○知人からSEG の話を聞いて、読書好きの子供に合うと思った。

○今から 40 年前になりますが、母親が高校受験塾(旧 TAP 進学教室)で、オックスフォード出版等の英語原書の短編集を訳す、設問に答える、という宿題を毎週、こなしていました。母親は高校時代は駿台やお茶ゼミに在籍していましたが、中学時代に高校英文法・英作文をきちんと仕上げていたの、一斉読みで英文を読むテクニックを教えるだけの塾は退屈でした。息子は4~8歳の幼少期に英国に住み、日系幼稚園では毎日、Phonics の授業もあり、耳から英語の習得を始めた子供だったので、SEG の、まず最初に始めるCD 音声を聴きながら shadowing の多読が、適応しやすかったのだと思います。ありがとうございます。

■TAP 進学教室、懐かしいですね。元 TAP 進学教室の中学部の責任者だった小田先生とは今でも交流があります。

○語学は国語も含め、本を読んで、考えて、感じて、自分の思いを書くことが、一番の楽しさであると思います。基礎力のみあれば後は本の世界を楽しむことで自然に力がついていくと思っているからです。

■はい。中3から高1にかけて、本当にいろいろな本を楽しめるようになっていきます。

○生きた英語が身につく。

○娘は読書が好きなので、多読を通して世界が広がると良いなと思ったからです。

○中1から多読を始めて、英語への興味を持ち、熱心に取り組んでいるので、本人に合っていると思うので、続けていきたいです。

○文法から英語を学ぶではなく、英語を英語で学ぶというスタイルがとても良いと思います。

○学校の授業とは関係のない授業なので、英語の知識が広がると思うから。

○将来、生活の上で英語が必要になった時、通常の塾の内容では実生活で苦勞すると思ったので。

○個人のペース、理解度で無理なく続けることができる点に魅力を感じ入会しました。

○トータルな英語力は、どれだけ英文を読んでいるかにかかっているので選びました。

○大学受験の時に、長い文章を速く読める力を身につけてほしいから。

○英語を楽しみながら学び、ネイティブの先生とお話できる機会を多く持ちたかったからです。

○普段暇な時間はスマホばかりで読書習慣がないので、たくさんの読書を楽しみながら英語のスキルアップができれば良いと考えたため。

○本を読むことで、英語を身近に感じてほしい。最近あまり本を読んでいる姿を見かけなくなってしまう、本の感想も話さなくなってしまったので、借りてきた本を読んでいるのか疑問。

○先に数学を受講していたから。

- 楽しく学んで英語を好きになってほしい。
- 宿題が少なそうだったのと、楽しく授業を受けられそうだったため。
- 子供が飽きっぽい性格なので、テキストに時間を掛けて取り組むスタイルだと、勉強が嫌になってしまうような気がしたので。SEG では、ジャンルを問わずたくさんの本に触れ、周りの生徒さんの意欲にも良い刺激を受けてほしいと思って選びました。
- 文法や、試験対策だけでなく、英語の勉強を自然と楽しんでほしいとの願いから選びました。
- 英会話が好きなので、文法や読解中心の塾よりも本人が楽しんで学べると思ったからです。

### ◇中3多読Dクラスのアンケートから

- 本人の希望。
- ご本人の希望を尊重していただき、ありがとうございます。
- 受験のための英語ではなく、社会人になってからも役に立つ英語を娘に身につけてもらいたいと考えました。
- 多読を通して、英語という科目を好きになってほしいため。
- 文法や単語は学校の授業や宿題で勉強できるので、より多く英語に触れてほしかったのと、長文を速く読めるようになってほしいためです。
- 読書をしない子どものため。楽しく授業をしてくれそう。
- 息子の性格から、負担なく自分のペースで進められる多読が良いと思ったので。また、本を読んでほしいとも思いました。
- 父親の方針。短期的な勉強のためではなく、語学力を身につけるため。
- 本人の進度に合った教材を選んでくれる。自信がつく。
- 親としては学校の英語の成績が芳しくないのが、基礎を学ぶ英語塾を考えていましたが、子どもが望んだので。英語を好きになることが上達への道かと思い、子どもの意思を尊重しました。
- 文法重視より、長文を読めるようになってほしい。今は英語を楽しんで得意科目にできたら良いと思ったので。
- 日本人の先生とネイティブの先生が両方いらっしゃることで、文法だけではなく、会話能力も期待しています。
- 使いながら段階的に力をつける授業だと思ったから。
- 数学と同じだからです。

- 幼少期から日本語の絵本の読み聞かせをしており、同様に洋書での読み聞かせもしていたため、絵本の読み聞かせから音を聞き、徐々に自ら読むようになっていく中で語彙力や表現力、文法を養っていくのが自然であり楽しいと考えているため、多読クラスのある貴塾を選びました。学齢が上がるとさまざまな内容の文章に触れる機会が増えると同時に、理解が難しいことも出てきましたが、今後大学はもとより社会でもさまざまな英文に触れるチャンスがあるときに臆せず情報を得られるようになってほしいです。
- 長い目で見て、使える英語を身につけられると感じたから。
- レベルに合った書籍にたくさん触れて、英語がある環境が当たり前と感じてほしかったから。
- 速読力や要約する力が持てそうだから。文法ばかりでつまらなそうな他塾より、本人も楽しめると思ったから。
- 大学受験の際に、長文を読むことが多くなっていると聞いたので。子どもがもともと読書が好きなので、文法ばかりよりも楽しめるから。
- ネイティブの方々に近い教育をしてくださるから。楽しく英語に触れられるから。
- 一番の理由は、英語を純粹に楽しんでほしいから。また、多くの英文に触れることで、すべての語彙や文法が分からなくてもトピックやストーリーの大意が分かったり、推察できるような力をつけてほしいと思ったから。
- 長文読解を幼少期から続けていたので。
- 学校の授業には十分ついていけているようなので、補習塾ではなく英語をもっと楽しく学べるところを探していました。また学校でも多読の試みがあるのですが、どのような本を読めばよいのか分からず困っていたというのもあります。
- 英語の長文を躊躇なく読めるように、学校ではやらない多読を選びました。
- 大学受験をするかは未定なので(内部進学するかもしれないので)、「大学受験のための英語塾」以外を探していたからです。
- 日本語に変換せず、英語で文脈を考える力を養うことができるという考え方に惹かれたこと。
- 感覚的に英語を体得してほしかったため。
- 本人が「文法は苦手ではない」と言うのを信じ、楽しく力がつけばと思いました。
- 多読がとても良いと思い、また外国人パートもあり、バランスよく学べると感じました。
- 英語を好きにならなければ上達はしないと思いましたので、まずは好きになるために多読の授業を選びました。
- 保護者に多読の経験があり、多読の効果を実感しているため。  
■最近、多読経験のある保護者の方が増えていて、心強い限りです。
- 日本語で読書をするように英語の本を読めたら素晴らしいと思ったため。

- 本人の希望により、一般的な英語塾を嫌がったため。楽しみながら英語に対しての苦手意識を少しでも克服できれば良いと思ったので。
- ご本人の希望を尊重していただいてありがとうございます。
- 文法を淡々と教えてもらい文章を暗記していく塾に行っていたが身が入らず、本が好きだったので、SEG を選びました。
- 受験のためではなく、真の英語力を身につけさせたいと考えたため。
- 自身の経験から、“多読”自体が面白いと感じていたから。
- 英語を英語で理解するなど、受験だけではなく将来使える英語を身につけてほしいと考えたため。
- 多読でしか身につかないものがあると思ったので。楽しくないと続かない性格なので。
- 大学入学後や社会人になっても通用する英語の基礎が、大学受験の勉強を通して身につけようと思ったので。
- 目新しい文章に気軽に多く触れることで、長文読解対策になるのではと考えたため。また、中学校の授業でも多読と All English に重点を置いているため。
- 自然に英語に触れながら、大人になっても必要な長文読解にも対応できる力を身につけてほしいため。
- 帰国子女なので(小2の4月に帰国)、通常の塾だと文法偏重で、英語が嫌いになるかもしれないと思ったから。
- 本人が好きで学ぶ方なので。
- 本人が読書好きであること、楽しく英語を身につけることができそうと感じたこと、受験のためだけでなく一生通じて使える、親しめる英語力を身につけてほしいと考えていること、など。
- ネイティブの先生であること。自然に文章を読み、英語で考える力を身につけるため。
- 英語を日本語に置き換えずに英語として理解できるようになるため。
- 私が社会人になってから多読の存在を知り、私自身が SEG さんの会員になり、洋書を借りていた時期がございました。多読の効果を実感していたので、ぜひ娘にも体験してほしいと思いました。
- 最近、多読経験のある保護者の方が増えていて、心強い限りです。
- 英語を、日本語に置き換えずにそのまま理解して使える力がつきそうだったので。ネイティブの先生と会話ができるので。
- 本人が通常の受験用の授業に魅力を感じず、むしろ、使える英語力の習得を目指したいと考えたためです。
- 受験勉強としてではなく、実用的な英語を楽しく身につけてほしいと思ったから。また、息子は読書が好きなので、英語の本もたくさん読めるようになったらいいなと思ったため。

- 相互のコミュニケーションがあるところ。
- 使える英語を習得してほしいと思ったので。本人も話せるようになりたいと思っているので。
- 英語の学ばせ方が興味深かったこと。母国語の覚え方と似ていると感じたから。英語の本を楽しめるようになること。
- 日本語の本も読まなくなっているので、少しでも活字から読み取る楽しさを経験してほしい。
- 読書で多くの単語、文章に触れることで速読力の強化が期待でき、さらに、大学受験後にも活かせる英語力になると考えています。
- 親が多読を知っていたため、ぜひ子どもにやってもらいたいと思っていたため。
- リーディングのスピードが速くなると思ったので。  
■通常の塾に通われるより、格段に速くなります。
- 英文を読むことに対する苦手意識がなくなることを期待したからです。
- 知り合いに勧められて。
- 友人の子ども(現在大学生)やその友人から、英語には困らなかったと、強く勧められたため。それまでは大手塾に行っていましたが、友人に、これからの受験は多読だと言われたため。
- 上の子がお世話になり、自然に力がついたため。
- 長い目で見て、英語力が身につくと思ったから。聞くこと、話すこと、読むことに慣れることは、本人も気づかないうちに力がつくと思っています。また、大学受験が近づいてから長文に取り組んでも遅いと思っていること、大学や社会人になってからも継続的に学ぶための基礎が身につくと思っています。
- 楽しく学べる、自然と頭に入ってくる英語と理解しています。従来の英語塾も大切ですが、抵抗がありました。
- 小さいころから本の虫だったから、何となく良いのではないかと思った。
- 楽しく学べるかなと思ひまして。
- 文法や英単語を覚えて問題を解くような、従来の英語学習をする塾が多い中、SEG はそれとはまったく違う学習法だったからです。「勉強」として英語に向き合うのではなく、楽しみながらたくさんの本を読み、生きた英語を身につけられるのはとても良いと思ったからです。
- 単語を知ること、速く読めるようになること、作文力も。

### ◇中3多読Cクラスのアンケートから

- 英語に苦手意識がある中で、文法や単語を詰め込むより、たくさんの良書に触れながら生きた英語を学び、本好きの娘がいつの間にか英語でも読書が楽しめるようになったら素晴らしいなと思ったからです。
- 一日1～2冊、必ず読むほど日本語の本を読むことが好きなので……、英語であっても同じスピードで読めるようになれば世界が広がると思ったため。
- 中学生から文章に触れる量を増やしたいと考えたため。
- 大学受験のため。
- 小学生の頃、海外児童文学を好んで読んでおり、いつか英語のまま読めるようになりたいと言っていましたので、多読は合っているのではないかと考えていました。また、ただ暗記をするよりも生きた英語に多く触れることは、受験だけでなく、将来の力になると思い、入会を希望しました。
- 話す、読む、書く、聞くが全部できた方が良いため。
- 使える英語を学んでほしくて。
- 母:知人の英語教師が勧めてくれたため。自身が大学生の時 SEG の数学を受講しとても感動したので、SEG なら間違いないという思いがあった。父:説明会で、楽しんで英語が学べ、続けられそうと思えたため。
- 学校の英語の先生に勧められたのと、先輩に通っていた人がいたため。
- 学校の授業では不十分と思ったから。
- 皆が先生の方を向き、一方的に受け身で受ける授業でなく、英語に苦手意識を持つことがないように、楽しんで学んでほしかったから、SEG を選びました。体験授業も楽しかったそうなので。
- 前の塾から切り替えて SEG にしました。数学をもともと受講しているのですが、数学が気に入っているようなので英語もお世話になることにしました。
- 入塾説明会で、多読の魅力を知ったことがきっかけです。
- 文法を学ぶだけでなく、読む・聞く・話すことができるようになってほしいと思い、選びました。苦手な英語が楽しいと言うようになったことを嬉しく思っています。
- 多読自体、どのように進めていくのか、未知の部分が多かったので、逆に興味があったから。
- 学校の授業の補完として。本や外国人の先生との関わりを通じて、英語や他文化への興味を広げてほしい。
- 高校受験がないため、楽しんで英語と向き合う時間が持てればと思ったため。

○留学や帰国子女など、英語の習慣に置かれる場面がない場合は無理やりその状況を作る必要があり、SEGさんはその環境を少しでも作ってくださり、しかも楽しく導いてくださると無条件で信じております。ORTを選んでおられるところに高いセンスを感じます。そして、多くのお子さんが結果を出しておられることも、クオリティーの高い本物の英語の学習環境を提供して下さっていることの証明です。そのようなさまざまな実績や私との考えと価値観の一致から、息子にはぜひSEGさんで学ばせたい思いを秘め、中2の冬、学校での校内実力テスト(50位まで順位発表)で思うような結果が出なかったことに、息子は大変悔しがり、そこへ間髪入れずに「SEGってあるよ。行ってみる？」「うん、行きたい！」となりました。大学受験のために早くからの通塾が必ずしも良いとは思っていません。学校の勉強をしっかりとやり、定期試験で結果を出し、コツコツ学習していき、圧倒的な基礎学力をつけることが、東大などの超難関国立大学にも対応できる力に結びつくと思うからです。ただ、SEGさんの方式は、受験に必要というより(結果的に役立つ生徒さんは多いと思いますが)、多読速読習慣を早めにつけると、英語を読むことが特別なことでなくなり、結果、海外の情報収集や学びにも一生役立ち、大学へ進学後も英語の論文や書物をたくさん読むことができるようになり、海外の大学ではネイティブと対等に読んだり書いたりすることができ、必ず役に立つと思うので、SEGさんで早めにその習慣やスキルを身につけてほしいと願っています。ずっと続けてくださり、ありがとうございます。今後ともよろしくお願ひいたします。

■こちらこそ、今後よろしくお願ひします。ご息子にも大きな効果が出るよう、手助けしていきたいと思ひます。

○本人が選びました。

○受験対策だけでなく、本来必要である読解力とコミュニケーション力をつけてほしいため。

○たくさんの英語の本を読むので、長文読解の力や、普通に学ぶより語彙力が増え、大学受験に役立つと思ったため。

○説明会に参加し、子どもが気に入ったので。

○長文読解が苦手なため。

○The 授業、という形式より better ではなかろうかと考えたから。

○多読によって、英語を自然な形で理解できていければと思っています。

○長女が SEG でお世話になり、長文が得意になったので。

○丸暗記の勉強ではない英語を学ばせたかったため。

○説明会を聞いて、詰め込みでなく楽しみながら学ぶ姿勢が身につけていくのではと期待して選びました。

○英語を好きになってほしい(好きな気持ちが続けてほしい)ため。

○4技能の勉強ができると思ったため。個人のペースで進められるところ。

## Q4 大学受験に向けて、今後、SEGの英語多読クラスに対する要望や気になる点・ご質問等がございましたら、お知らせください

### ◇中3多読Eクラスのアンケートから

○中1で英語を一から始めて約1年で英検2級を取得しましたが、準1級合格にはあと少しのスコアで1年間足踏み状態です。リーディングとリスニングはよくできていますが、語彙と英作文で高い得点がとれません。他塾では日常的に(受験)英作文に取り組むという話も聞いておりますが、SEGで直接的な大学受験対策を始めるのはやはり高3になってからでしょうか？なお、SEGの授業は大学入試にも十分対応できると娘自身が信頼しており、その点は心配していません。

■はい。直接的な大学受験対策を始めるのは高3になってからです。それで十分に間に合うような基礎力を高2までにつけてもらうのが方針です。そのような基礎力が、大学に入ってから原書読書や英語での討論に役に立つのです。大学に入ることは大事ですが、入った後、さらに伸びていくことはもっと大事だと考えています。

○信じてこつこつやっています。

■信じていただいて大丈夫です。

○まだ中3ですが、今後の英語の学習方法について、このままSEGの授業でいいのか、息子の授業の様子、スキルレベル含めて相談させていただきたい。

■クラス会の個人面談でお話しさせていただきます。

○長文を理解する力、そして書く力(表現する力)を磨いてほしいです。

○大学受験についての知識が何もないので、どのようなタイミングで何を考えさせるべきか、親が関わるのかなど、必要とされていることがまったく分からない状態です。

■高2までに英語と数学の基礎力を固めていれば、大学受験対策は、高3になってからで十分です。保護者の役割は、「将来の職業や生き方」についてご子息とときどき話し合ったり、人生の先輩として、情報提供をしてあげることかと思います。

○本人から楽しいという話しか聞かない。このままで受験に通用するのか？もう少し学年が上がると何かが変わるのか？

■楽しいことが英語ができるようになる最大のコツです。経験上、このまま続けていけば受験に十分に通用しますし、通用するようなカリキュラムになっています。高2から徐々に入試対策もしていくので大丈夫です。

○今年度英検第3回を学校で準1級受けさせられるそうなので、よろしくお願いします。

○英文法がまだ曖昧なので、それが毎週の英作文に出てしまっているかなと思います。英作文の復習は大事だよと頻繁に指導してくださいと助かります！親が言うと逆効果になりかねないので……。

■英作文は、英文法の良い復習になるので、それをまた、お話しさせていただきます。

○楽しく、満足しているようで、現時点では要望、気になる点はございません。今後学年が上がるとみなさん受験向けの勉強も別途どのようにされるのか、事例などが知りたいです。

■高3では、全クラスで受験向けにシフトして、入試問題を素材に演習・講義をします。高2から受験向きにシフトするコース(YZコース)も開講しています。

○大学受験としては考えていません。

○2025 年度の新課程入試で、科目「英語」はどのように変わるのか、多読で対応できるのかなど、入試事情が分からず不安です。

■共通テストなどでは「会話文」がより重視される可能性があります。多読生には全体的により有利になるかと思えます。新課程入試になっても、多読クラスに通われていれば、大学受験の英語に不安を抱える必要はありません。

○海外大学進学を行う場合に必要なことなどを教えていただけるとありがたいです(海外大学も選択肢としては考えているため)。

■海外大学進学では、内申書やボランティア活動や課外活動も重視されるので、学校の成績をそれなりにキープすることと、何らかの課外活動を高1のうちからしっかりやることが必要です。

○単語の力が少ないように感じています。文脈から把握していくのは理解できるのですが、最低限の力はつけてもらいたい。

○大学受験もですが、学校の模試や試験で文法が弱いので、文法強化になる方法も少し取り入れてほしい。

■理解度8割以上で多読を続けていれば、文法の力も少しずつ自然に伸びていきます。それでも足りない分は高3の受験多読クラスで補い、受験には万全の体制をとっています。

○特にありません。今後の授業を楽しみにしています。

○同じクラス内の生徒の名前を知らないようなので、授業内でさりげなく名前を覚えるきっかけがあればいいと思います。

■外国人 Part では、出席をとるとき名前を呼んでいます。多読 Part でも英作文の添削を返却するときには、原則名前を呼んでいます。

○今後の大学受験では、文法の暗記、単語の暗記などは引き続き必要な学習でしょうか。

■文法については、多読で自然に身につく、暗記がまったく不要な方も多いです。単語については、やはり高3で暗記は多少必要です。

○多読の勉強はストレッチをしながら本を読んでいるだけなので、今後大学受験に応用できるのか心配です。

■大丈夫です！

○文法、英作文などは自学のものを取り入れた方が良いでしょう。学校のもので十分でしょうか。

■学校のもので十分かと思いますが、不安であれば、担当講師にご相談ください。

○引き続き、よろしくお願いいたします。

○多読の時間にもうちよつと授業をしてほしい。読んでいるだけでなく。

■授業中でしか多読できない受講生も少なくないため、授業時間はできる限り多読に使っています。できるだけ多くの時間に読むことで、英語の基礎力がついていきます。

○受験に向けた内容にシフトチェンジするのでしょうか(高2、高3あたり?)。

■高3では、全クラス受験にシフトします。高2から受験にシフトするコース(YZ コース)も用意しています。

○学校行事を優先しながらも、学校では学ぶことのできない多読(継続という意味で)のご指導いただけることが一番ありがたいです。

○子どものレベルに応じて難易度や分量をどんどん上げて/増やしていただきたいです。

■はい。原則そのようにしています。ただし、分量については本人次第などところがあります。

○①文法にも力を入れてほしい。②知識の定着の確認も大事なことだと思います。

■SEG では、多読と会話を通じて、自然に文法を定着させる授業を行っています。知識の定着の確認のため、毎週英作文(和文英訳)で、文法事項の確認も行っています。

○TOEFL 高得点や英検1級の合格を目標にしているので、そちらに向けての読解力や語彙力UPが目指せたらいいと思っています。

○高校一年で一年間の単位認定留学を検討している。

■高1で、交換留学に行かれる方も毎年複数います。ぜひ頑張ってください。

○医学部志望の場合、医学用語や論文も英語で読みこなす必要がありますが、医学部志望の SEG 生は、一般的にいつ頃から、どのような対策をされるのでしょうか？

■国立大学の医学部では、医学用語が必要とされる問題は出題されていません。私立医学部の中堅大学では、医学用語が出題されることもあります。大学によって異なります。大学の出題傾向に備えて対策するように指導しています。なお、医学部志望者は、高3で、医学系の小説や医学系のノンフィクションを読む人は多いです。

### ◇中3多読Dクラスのアンケートから

○多読で Reading の力はつくことと思いますが、Speaking 力を高めるような授業は行われていますか？

■外国人パートでは、2~3人で英語でディスカッションをする形で Speaking 力を高めています。

○大学受験に向けて SEG のクラスのみで他に何かすること(必要なこと)はありますか？

■学校の授業を真面目に受けるだけで十分です。

○今までも見ていただいているとは思いますが、今後も長文読解や英作文に力を入れていただきたいです。

○多読の本(100~300語前後)とクラス分け試験の長文のレベルの乖離を感じます。多読のレベルを少しずつでも上げていくにはどのように取り組んでいけば良いのでしょうか。幼稚園児の頃読んでいたものと同等のものなので、今後の進み具合がよく分からなくなっております。

■幼稚園児の頃読んでいたものがしっかり読めるようになれば、多読のレベルはしっかり上がっています。中3になると、そこから脱却して、1000語、2000語、4000語の本を読んでいく方がどんどん増えていきます。そろそろ長いものも読める自信がついてきたら、積極的に担当講師にもう少し難しいものでも大丈夫とお伝えください。

○高3では過去問の添削もお願いできますか？

■講師に余裕がある限り、過去問の添削も行いますが、1月以降は困難となります。過去問の添削を希望の場合、高3の9月~11月をお願いします。

○より少人数でのクラスなど、濃い授業を受けさせたい。中1の頃から担任の先生にご指導いただいております。担任の先生が大好きと話しています。来年もお世話になれば本人も喜ぶます。

○受験本番までの理想とするペースが知りたいと本人の要望です。

■年間多読語数 30 万語以上、高2終了時まで、ACE のテストで 800 点超えですね。

○春の多読のクラス分け試験(講習時に受験した追試験)は、点数の開示がなかったので、上のクラスまでどのくらいの位置関係にあるのか分からなかったもので、できれば開示していただきたい。今回クラスが下がってしまったので、本人のモチベーション維持のためにもお願いしたいです。

■新規生も受験する試験については、原則、点数・基準点を開示していませんが、個別に担当講師あるいは会員相談室に言っていれば、保護者の方に、どの程度届かなかったのかをお伝えすることはできます。

○大学受験で出題されたことのある本を定期的に多読に組み入れていただければ良いかと思いました。

■大学受験で出題されたことのある本は、多くの場合、正直多読に向きません。

○大学入試に出てくるような説明文なども追って扱っていただけたら幸いです。

■ノンフィクションの本も適宜、受講生に勧めています。

○“受験用”として多読クラスに通っているのではない。本人が楽しく学んでくれれば良いと考えている。

■ご理解ありがとうございます。

○辞めずに続けられるように、サポート(声掛け)していただきたいです。6年間続けたら、きっと大きな力になると思います。

■はい。こちらもコンスタントにサポートしたいと思います。

○学校の英語の成績は良いのですが、SEG のクラス分け試験ではどうもいまいちです。英作文の復習と宿題、借りた本を読むことはしていますが、大学受験に向けてどうしたらよいのでしょうか？

■理解度8割以上で、毎週1万語、年間 50 万語読んでいただき、英作文の復習をしていただければ、必ず英語力は伸びていき、大学受験にも対応できます。

○多読は楽しんでいるようだが、本人はのんびりしており、多読本の読書語数がなかなか増えていないように思われる。また、本人もハリー・ポッターへの道のりは、果てしなく遠いものと感じている。

■最上位クラスでなくても、高3の中位クラスでも多くの人がハリー・ポッターや同等の長さの本を読んでいます。しっかりやっていたら、遅い人でも高3にはハリー・ポッターは読めるようになります。

○もう少し文法を(本人が)意識して学んでほしい。

○楽しく授業を進めてくださり、ありがとうございます。まだ早いかもしれませんが、大学入試に向けてのアドバイスなども授業内で聞けたらいいと思います。

■大学入試は英語だけでないので、アドバイスは、早めに受験大学・学部を決めて、個別の大学の試験科目に対して対策を考えることにつきます。そのため、一番重要なのは「将来何になりたいか、何をしたいか」ということです。それがはっきりしないと、勉強の動機が上がりません。そのようなことは、高校生になったら折に触れて、多読クラスのクラス分け試験後の個別面談で話させていただいています。

○宿題について、多読の本について声掛けはしていますが、あまり進みが分からない状態です。ご指導よろしくお願  
いいたします。

○学校毎の出題傾向を取り入れた授業にしていきたいです。

■これは、中高のことでしょうか？ それとも、大学のことでしょうか？ いずれにしても、SEGはいろいろな在籍校の生  
徒さんがおり、志望大学もさまざまですので、残念ながらご希望には沿えません。どの大学に進むにしても必要と  
なる英語の基礎力を高める授業をするのがSEGの方針です。

○SEGのやり方で力がつくと思っているので、現在のところは特にない。

○息子は「塾に行く」という行為が本当に嫌いで困っています……。高校3年間通わせたいので少しでも楽しい要素  
があると嬉しいです(楽しむは自分次第ですが……)。

○大学受験に向けてどのような内容の授業をされるのか、概要を知りたいです。

■高1までは幅広く英語で本を読んでもらい、基礎力をつけ、さらに、高2、高3でも多読を続け、基礎英語力をさらに  
高めていきます。高3では受験問題の解き方に授業をシフトし、得点力をアップさせていきます。大学受験への不  
安が強い方のために、高2から受験問題の解き方に授業をシフトしたクラスも開講しています。英語は、大学受験が  
最終目的ではありません。大学に入り、さらに社会に出た後、英語で文献を読める、英語で海外の人と仕事ができ  
ようになることが目的です。SEGは、そのようなことが達成できるようなカリキュラムとなっています。

○今は本人の努力が必要と考え、特に気になる点はありません。

○要求される英語レベルが確実に高くなっていると思う。科学的な評論とまではいかななくても、そんな感じの楽しめる  
本が増えてくるといいかなと思います。

### ◇中3多読Cクラスのアンケートから

○以前の全体保護者会(Zoom)で、すぐには学校の成績とリンクしないとありましたが、やはり心配です……。

■残念ながら、すぐには学校の成績とはリンクしませんが、模擬試験など、「学校でやっている特定の範囲」以外の試  
験には、多読開始1年程度で効果が表れます。

○これからなので長い目でよろしくお願いたします。

○あまり感想を言わないのと、部屋で集中して学習していることが多いので、果たして本人の自宅での学習方法(予  
習・復習・発展学習)が適切なのかどうか、家庭でのフォロー・協力などはどのようにしたらよいか、本人の習熟度や  
クラスでの様子はどうか、など、お聞かせいただけますと幸いです。

■クラス会あるいは個別面談でお話しさせていただきます。

○多読を通じて、多くの異なる学校の生徒と学びをともにする機会をいただき、感謝しております。

○のびのびとやっていて楽しく通っていることには安心しています。しかし、大学受験を意識すると間に合うのか、若  
干不安はあります。何が足りないか、先生と生徒が共有できていると良いです。

○英語に興味を持てているのは喜ばしく現状は目的に合っているが、多読の進捗が今後、大学受験のレベルに達するか。

○大学受験に向けて多読でどこまで合格するまでの実力がつくのか気になります。

■過去の合格実績を見ていただくしかありませんが、高2在籍時に中位のクラスに在籍していれば、英語で差をつける力はついていきます。今は心配するより、理解度8割で読める本を毎週6000語、年間30万語しっかり読み、授業中に行っている宿題の復習をしっかりすることが大事です。

○文法が少し疎かになってきており、どのように対策をしてよいか、考えております。SEGの英語多読への要望はないです。楽しく受講しています。

○本人が学ぼうとしているのかどうか最重要と思うが、学び取ろうとする姿勢はまだ感じられない。本来は活かし方では大変有益と思っておりますが、本人の動機次第だろうと思います。

○英語に苦手意識がありましたが、SEGの授業は楽しいようで進んで塾に通う様子に嬉しく思います。

○春期講習の時に受けた入塾テストがとても難しかった、と言っていました。塾を続けるにはテストにパスしなければいけないようですが、どういった点に気をつけていけばよろしいでしょうか。

■理解度8割で読める本を毎週6000語、年間30万語しっかり読み、授業中に行っている宿題の復習をしっかりすることが大事です。

○理想は丸暗記の勉強ではない英語を学ばせたいですが、実際、英検の取得なども必要と思っております。授業はどのような検定にも対応できますか？

■英検対策はしていませんが、理解度8割で読める本を、毎週6000語、年間30万語しっかり読み、授業中に行っている宿題の復習をしっかりしていれば、英検にも十分対応できます。

○今までどおりお願いいたします。

○大学ごとの(テスト)特徴やアドバイス、ポイントを子どもに伝えてほしいです。先生のアドバイスは実践しているようなので、具体的をお願いしたいです。

■大学の学部ごとに英語の試験はかなり違いますので、具体的な受験大学・学部がはっきりしないとアドバイスは不可能です。高2・3の個別面談ではそのようなアドバイスもしますが、中3～高1の時期には、どの大学でも必要な英語の基礎力を固めることが大事です。英語の基礎力を固められるよう、多読クラスでは指導しています。